



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日

上場会社名 中部鋼板株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5461 URL <https://www.chubukohan.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）金子 大剛  
 問合せ先責任者（役職名）常務取締役（氏名）松田 将（TEL）052-661-3811  
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月1日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	23,263	△23.8	560	△84.6	652	△81.6	441	△82.3
2025年3月期中間期	30,531	△6.7	3,629	△18.0	3,549	△18.7	2,501	△17.8

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 938百万円(△55.3%) 2025年3月期中間期 2,096百万円(△38.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	16.31	—
2025年3月期中間期	92.40	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	83,917	75,597	89.2
2025年3月期	84,565	76,022	89.0

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 74,841百万円 2025年3月期 75,279百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	51.00	101.00
2026年3月期	—	50.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	51.00	101.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,800	3.4	2,300	△15.0	2,600	0.0	2,100	21.3	77.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想の修正につきましては、本日(2025年10月30日)公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	28,000,000株	2025年3月期	28,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	908,678株	2025年3月期	917,716株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	27,086,157株	2025年3月期中間期	27,078,448株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期(中間期)決算短信(添付資料)3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内鉄鋼需要は、全体として低調に推移しました。当社の主需要先である産業機械・建設機械向けは海外需要の低迷などから回復には至らず、建築・土木向けは人手不足や資材コスト上昇による工期の遅れや計画見直しの動きが継続し需要は低迷しました。

このような環境のもと、昨年度の溶鋼漏れ事故から稼働再開した新電気炉の安定操業と生産性の改善、積極的な営業活動による受注の取り戻しに努めたものの、鉄鋼市況の冷え込みにより販売数量・販売価格は前年同期比でマイナスとなり、売上高・利益ともに大きく減少しました。

その結果、当中間連結会計期間における売上高は232億6千3百万円と前年同期比72億6千8百万円の減収、経常利益は6億5千2百万円と前年同期比28億9千6百万円の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は4億4千1百万円と前年同期比20億6千万円の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (鉄鋼関連事業)

鉄鋼関連事業につきましては、鉄鋼需要の低迷と前連結会計年度の事故による一時受注停止の影響から、主要製品である厚板の販売価格・販売数量はともに前年同期を下回りました。また、販売価格の下落が鉄スクラップ価格の下落を上回ったことによりメタルスプレッドは縮小し、製造コストの増加も収益を圧迫しました。その結果、売上高は219億3百万円と前年同期比72億円の減収、セグメント利益(営業利益)は4億円と前年同期比30億1千4百万円の減益となりました。

## (レンタル事業)

レンタル事業につきましては、厨房用グリスフィルターのレンタル枚数の順調な積み上げと価格改定の実施、広告看板制作の受注増加により、売上高は3億8千8百万円と前年同期比1千4百万円の増収、セグメント利益(営業利益)は4千6百万円と前年同期比1千3百万円の増益となりました。

## (物流事業)

物流事業につきましては、危険物倉庫でのリチウムイオンバッテリーの取扱量減少と人件費をはじめとする諸コストの上昇により、売上高は2億5千8百万円と前年同期比3千5百万円の減収、セグメント利益(営業利益)は4千9百万円と前年同期比5千3百万円の減益となりました。

## (エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、前連結会計年度計上の大型工事案件が剥落したことにより、売上高は7億1千3百万円と前年同期比4千7百万円の減収、セグメント利益(営業利益)は2千5百万円と前年同期比2千3百万円の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産状況

#### (資産の部)

流動資産は456億5千4百万円で、前連結会計年度末より9億2千5百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品、仕掛品が増加したものの、現金及び預金、有価証券が減少したことによるものです。

固定資産は382億6千2百万円で、前連結会計年度末より2億7千7百万円の増加となりました。その主な要因は、機械、運搬具及び工具器具備品が増加したことによるものです。

#### (負債の部)

流動負債は70億7千6百万円で、前連結会計年度末より4億6千6百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したものの、未払金、未払消費税等が減少したことによるものです。

固定負債は12億4千3百万円で、前連結会計年度末より2億4千3百万円の増加となりました。

#### (純資産の部)

純資産は755億9千7百万円で、前連結会計年度末より4億2千5百万円の減少となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したものの、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したことによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は158億3千8百万円となり、前連結会計年度末より56億円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは60億9千2百万円の支出(前年中間連結会計期間は106億8千万円の収入)となりました。

主として、仕入債務の増加12億5千6百万円、減価償却費10億6千2百万円などの収入があったものの、棚卸資産の増加45億7千6百万円、売上債権の増加41億7千7百万円などの支出があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは18億8千2百万円の収入(前年中間連結会計期間は5千2百万円の支出)となりました。

主として、有形固定資産の取得25億4千2百万円、定期預金の預入20億円などの支出があったものの、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還52億円、定期預金の払戻35億円などの収入があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは13億8千9百万円の支出(前年中間連結会計期間は16億5千3百万円の支出)となりました。

主として、配当金の支払13億8千3百万円などの支出があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日2025年10月30日公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、期末配当金につきましては1株当たり51円を予定しております。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,441	12,340
受取手形及び売掛金	7,988	11,299
電子記録債権	2,324	3,190
有価証券	12,490	8,186
商品及び製品	1,506	3,893
仕掛品	756	3,127
原材料及び貯蔵品	3,365	3,184
その他	706	432
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	46,579	45,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,456	6,364
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	12,904	13,384
土地	2,316	2,270
建設仮勘定	2,854	2,801
その他(純額)	1	1
有形固定資産合計	24,534	24,822
無形固定資産	169	155
投資その他の資産		
投資有価証券	12,325	12,257
退職給付に係る資産	404	366
繰延税金資産	136	134
その他	417	529
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	13,281	13,284
固定資産合計	37,985	38,262
資産合計	84,565	83,917

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,652	4,905
電子記録債務	—	4
未払金	2,496	1,250
未払法人税等	75	144
未払消費税等	430	37
賞与引当金	404	399
役員賞与引当金	15	6
災害損失引当金	105	—
その他	362	328
流動負債合計	7,543	7,076
固定負債		
役員退職慰労引当金	15	13
退職給付に係る負債	697	665
繰延税金負債	128	412
その他	157	151
固定負債合計	999	1,243
負債合計	8,543	8,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	2,869	2,880
利益剰余金	65,189	64,249
自己株式	△775	△767
株主資本合計	73,190	72,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,883	2,378
退職給付に係る調整累計額	204	193
その他の包括利益累計額合計	2,088	2,571
非支配株主持分	743	755
純資産合計	76,022	75,597
負債純資産合計	84,565	83,917

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	30,531	23,263
売上原価	24,365	20,338
売上総利益	6,165	2,924
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	1,281	1,201
役員報酬及び給料手当	482	481
賞与引当金繰入額	190	124
退職給付費用	33	36
その他	548	520
販売費及び一般管理費合計	2,536	2,364
営業利益	3,629	560
営業外収益		
受取利息	17	71
受取配当金	88	101
受取賃貸料	36	37
雑収入	21	14
営業外収益合計	162	225
営業外費用		
支払利息	4	7
固定資産処分損	224	110
雑損失	13	14
営業外費用合計	242	132
経常利益	3,549	652
特別利益		
投資有価証券売却益	105	—
特別利益合計	105	—
税金等調整前中間純利益	3,654	652
法人税等	1,125	198
中間純利益	2,528	454
非支配株主に帰属する中間純利益	26	13
親会社株主に帰属する中間純利益	2,501	441



## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,528	454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△420	495
退職給付に係る調整額	△11	△11
その他の包括利益合計	△432	483
中間包括利益	2,096	938
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,069	925
非支配株主に係る中間包括利益	26	13

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,654	652
減価償却費	1,004	1,062
投資有価証券売却損益(△は益)	△105	—
固定資産処分損益(△は益)	224	110
引当金の増減額(△は減少)	△46	△15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△47	△43
受取利息及び受取配当金	△105	△172
支払利息	4	7
売上債権の増減額(△は増加)	10,528	△4,177
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,476	△4,576
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,733	1,256
未払消費税等の増減額(△は減少)	△234	△393
その他	△179	△454
小計	12,440	△6,743
利息及び配当金の受取額	104	172
利息の支払額	△4	△7
法人税等の支払額	△1,867	△96
法人税等の還付額	6	582
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,680	△6,092
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,500	△2,000
定期預金の払戻による収入	5,500	3,500
有形固定資産の取得による支出	△3,288	△2,542
有形固定資産の売却による収入	55	0
有価証券の取得による支出	△3,000	△1,100
投資有価証券の取得による支出	△904	△1,006
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	4,176	5,200
その他	△91	△170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	1,882
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,646	△1,383
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△6	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,653	△1,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,974	△5,600
現金及び現金同等物の期首残高	12,016	21,439
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,991	15,838

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	29,104	373	293	760	30,531
その他の収益	—	—	—	—	—
(1)外部顧客に対する売上高	29,104	373	293	760	30,531
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	4	126	294	426
計	29,104	378	420	1,055	30,958
セグメント利益	3,414	33	103	49	3,599

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,599
セグメント間取引消去	29
中間連結損益計算書の営業利益	3,629

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	21,903	388	258	713	23,263
その他の収益	—	—	—	—	—
(1)外部顧客に対する売上高	21,903	388	258	713	23,263
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7	10	143	487	648
計	21,911	398	401	1,200	23,911
セグメント利益	400	46	49	25	521

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	521
セグメント間取引消去	38
中間連結損益計算書の営業利益	560